

口 絵

幌満・サハリン写真の旅……………新井田清信ほか

特集：北方域-I

神居古潭変成帯—1億年をこえる変動帯……………渡辺 暉夫・6

サハリンにおける変成帯のテクトニクス

……………合地 信生・小俣 雅志・A. Z. Zharov・寺田 剛・12

サハリン島南東部の付加テクトニクス

—北海道-サハリン‘中生界’の地帯構造概説—

……………七山 太・寺田 剛・小俣 雅志

紀藤 典夫・A. Z. Zharov・石崎 俊一・15

サハリンの蛇紋岩メランジュは何を語るか？

……………加藤 孝幸・寺田 剛・D. F. Semjonov・A. Z. Zharov・27

日高変成帯における高温変成作用と地殻溶融……………小山内康人・大和田正明・34

北海道東部にみられる屈曲構造の形成時期……………藤原 嘉樹・金松 敏也・45

サハリンの新生代火山活動……………岡村 聰・49

北海道の第四紀火山……………中川 光弘・57

千島列島の第四紀火山岩類に見る海洋物質の混入……………石原 舜三・65

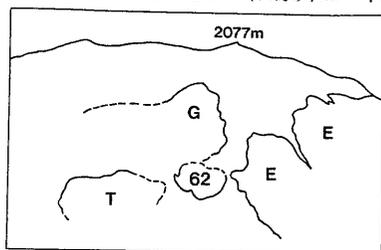
最近のサハリン地質調査事情……………加藤 孝幸・33

編集後記……………石原 舜三・佐藤 興平・70

好調な函館—ユジノ 航空路線……………56

表 紙

北西から南東に見る十勝岳：十勝岳(2077m)は北海道の中央部に聳える玄武岩質安山岩の溶岩・火砕物からなる活火山である。Gはグランド火口、2500年前の大噴火口である。Tは1926年5月、噴火による山体崩壊で大正泥流(犠牲者144人)を起こした火口であり、62は1962年、1988-89年噴火の新しい火口である。右側のEは熱水変質岩の浸蝕地形。(石原舜三・中川光弘)



通商産業省 工業技術院 **地質調査所**

〒305 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3533

Geological Survey of Japan